

# 難波田城だより

2020 秋

# 85号

編集・発行

—難波田城公園・難波田城資料館ニュース— NEWS from NANBATAJO

富士見市立難波田城資料館

令和2年9月1日発行

## 富士見市・資料館・そして私とセルビア

市民学芸員 鶴飼 貴子



セルビア共和国及びシャバツ市の位置



セルビア大使・秘書官の記念写真の一コマ

富士見市とセルビア共和国のシャバツ市は、1982年に姉妹都市となり交流を深めてきました。そして難波田城資料館はたびたびセルビアとの交流の舞台になってきました。

2010年には、シャバツ市からの訪問団が訪れ、和服やもちつきを体験し、田舎うどんを召し上がりました。また2013年には、セルビアの大使が資料館へ来館しています。その際、市民学芸員から手作りの来園記念品をお渡ししました。

2018年の「難波田城公園まつり」にも、セルビア大使が参加されました。このときは、富士見市長とセルビア大使、そして女性秘書官が甲冑を身につけ火縄銃演武に加わったことが話題になりました。また資料館では大使の来訪にあわせ「富士見市・セルビア友好記念展示コーナー」を設置しました。

翌2019年に行われた市長と大使の新春対談の折には、資料館で活動をしている扇だこ保存会代表大曾根氏が、自作の富士見市伝統工芸品の「扇だこ」を縁起物としてセルビア大使へ寄贈しました。

他にも、例えば富士見市内の学校給食では、セルビア料理が出されることもあり、子ども達は本格的な欧風料理に舌鼓を打っています。

私自身も幾度となく、セルビア大使館へ出向き、バルカン半島の文化に触れ、学び、五感でセルビアの元気なエネルギーを体感し、お食事会、セルビア宗教美術、バザー、民族ダンス、文学書籍刊行記念

のイベントなどに参加しました。それらはどれも刺激的なものでした。

2019年12月には、「東京オリンピック・パラリンピック2020」で富士見市がセルビアのホストタウンとなることが決まりました。

この決定は長年の交流の結果、生まれたと考えられます。両国の市民の絆が、国際的な祭典である東京オリンピック・パラリンピックへ繋がり、来年にはセルビアの選手達が富士見市に来訪することになったのではないのでしょうか。実際、ホストタウンに決定した後、セルビア国内のニュースは「セルビアの五輪組織委員会は、富士見市が東京から近いという立地条件に加え、長年の友好・信頼関係があるためホストタウンにした」と報じました。

残念ながら、新型コロナ感染症の流行により、オリンピックは延期される事態となってしまいました。早く収束して東京五輪を通じて人類の平和への寄与に加え、富士見市とセルビア、そしてシャバツ市との交流がいつそう深まることを切望しています。

人類は皆、新型コロナ感染症の危機の為に、劇的な生活様式の変化を受け入れざるを得ません。その中で新しい生活への順応が求められています。

この不安の時代をなんとか乗り越え、両市、両国の関係がより素晴らしい未来へ向かえるように、私は自身の活動、そして市民学芸員活動を充実させていき、微力ながら力になればと思っています。

市民学芸員のページ \*このページは市民学芸員が原稿を執筆、編集しました。

難波田城 ちょっと拝見 みどころ紹介

常設展シリーズ②『現代・富士見の都市化』

資料館の空調設備更新工事と共に、展示の一部も更新されました。更新されたのは「現代」のパネルです。今回はその中の一つ、「富士見の都市化について」を紹介します。

更新前の同パネルは、富士見市が誕生するまでの町村合併の変遷の図と、昭和30年代、特に昭和32年と、37年に造成された公団住宅への入居による人口増加を取り上げていました。

一方、今回更新されたパネルでは、従来の内容に加え、都市化の変遷を、富士見村誕生から近年までの人口変化グラフで示しています。

また、新住民のほとんどが市外に通うサラリーマンであったこと、現在も昼夜間人口比率(夜間人口百人当たりの昼間人口)が、近年、全国の中で最も小さな値を示したことから、富士見市は日本一のベッドタウンであると紹介しています。

それと併せて、サラリーマン漫画の代表作である「島耕作」シリーズ、「釣りバカ日誌」が、本市にゆかりが深いことも、実際の漫画のシーンを示して紹介しています。

**富士見の都市化**

昭和30年代には大田市とその周辺への人口の集中が進み、富士見にも都市化の波がはるんできました。昭和32年(1957)に日本住宅公団難波田城(29万坪)、37年(1962)に難波田城二団地(105万坪)が完成しました。民間住宅の建設も盛んに行われました。人口は急増し、昭和39年(1964)に暫設、昭和47年(1972)に本館を竣工しました。副市長のほるとんは、市外で働くサラリーマンとその家族でした。近年の経済減速でも、富士見市は経済成長率が全国の中で最も少ない「日本一のベッドタウン」です。

「富士見」の人口変化(住民基本台帳などによる)

『昭和37年 島耕作編(島耕作)』 『副長・島耕作』(1981年頃の設定)  
北条けんいち『釣りバカ日誌』 瀬尾トシロウ(2011年5月24日現在)

更新されたパネル

最近、全国各自治体での人口減少をよく耳にします。しかし当市では微増ではあります。増加し続けており、住むための魅力ある条件が備わっていることこそ、都市化に必要なものだと感じています。(田中聰行)

おもしろ・なつかし体験⑥⑥

ちょっと変わった「かざぐるま」

このコーナーは、難波田城公園での体験学習やイベントの紹介・報告・参加者の感想などを取り上げます。

子供のころ上州の空っ風が吹く中で、「かざぐるま」を作ってよく遊んだものです。その時に作ったのが、今回の「かざぐるま」です。普通の「かざぐるま」と違い地面を転がる「かざぐるま」です。

画用紙を切り抜き2種類の「かざぐるま」を作ることができます。この「かざぐるま」は風が吹かないと遊べません。風速にもよりますが、走っても追いつかないくらいよく転がります。

平成30年3月20日に初めて「ちょこっと体験」で登場しました。この日はあいにくの雨と雪で寒い日でしたが、参加者が3名ありました。講座室で行い、風がないので扇風機を使用したところ、うまく

転がらず、大失敗でした。

2回目は平成31年3月10日。旧金子家住宅の土間で行いました。この日は曇り。風なし。職員の富永さんの発案で「唐箕」を使用。風が渦を巻かないので何とか「かざぐるま」を転がすことが出来ました。参加者24名。扇風機から出る風は渦巻状の風であることがわかりました。機会があれば自然の風で再挑戦したいものです。

写真は2回目で使用した2種類の「かざぐるま」と「唐箕」です。(鈴木 榮一)



地を這う「かざぐるま」



唐箕

人の創ったもの★人の使ったもの

このコーナーでは、地元に関するものを紹介します。今では使われなくなったものからわたしたちの身近な歴史をひもといてみたいと思います。

幻のホームページ

本年6月1日、難波田城資料館は開館から満20年を迎えました。翌2日、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための3か月の臨時休館が終り、再開館しました。開館を待ち望む気持ちを、少し追体験できたような気がしました。

IT元年

さて、難波田城資料館が開館した平成12年(2000)は、IT元年とも呼ばれました。

この年、全国的な事業として市民向けのIT講習会が実施され、「新語・流行語大賞」に「IT革命」が選ばれました。

富士見市ホームページ(公式サイト)「どっと!ふじみし」もこの年10月に開設されました。

公式サイトのはじまり

実は、市公式サイトより前に、市内の公共機関としては初めてのホームページ(公式サイト)を開発しようとしていた機関がありました。

他ならぬ、(仮称)難波田城跡歴史公園開設準備室です。

ホームページ編集

現在、ネットでの情報発信は、ブログやSNSなど、文章を送れば自動的にレイアウトしてくれるツールが一般的です。市の公式サイトもCMSと呼ばれるツールを使い、統一的なデザインになっています。しかし当時は、ホームページ編集ソフトを使い、自分でデザインをする必要がありました。当時の準備室職員が作成したトップページが下図です。当時流行していたフレームという手法を使い、左側にメニュー、右側に個別の内容が表示されます。

予定していた内容

メニューを見ると、難波田城の歴史や整備工事の進行状況、所蔵資料について、お知らせしようとしていたことがわかります。「人の創った道具 人の使った道具」というコーナーは、難波田城だよりの当コーナーの旧名と同じです。

そして幻へ

平成11年秋、市公式サイトを開発する方針が示され、独自サイトの計画は中止になりました。最終編集日は1999年9月9日でした。(早坂廣人)

難波田城跡歴史公園  
整備事業  
事業のあらましと  
鳥瞰図

難波田氏の歴史  
鎌倉時代から戦国時代  
にかけて活躍した武士  
「難波田氏」の盛衰

難波田城跡公園  
難波田城のあらまし  
史跡公園の整備内容

人の創った道具  
人の使った道具  
所蔵民具の紹介

準備室よるず版  
お知らせ  
工事の進捗状況  
お問い合わせ

関連サイト  
更新履歴

# 難波田城

富士見市立(仮)難波田城跡歴史公園の紹介のページです。  
(仮)難波田城跡歴史公園は平成12年6月に埼玉県富士見市下南畑にオープン予定です。  
ここでは事業・施設の概要や工事の進捗状況をお知らせしています。

事業計画鳥瞰図

## ＊ ＊秋のイベント予定＊ ＊

### ●富士見市児童・生徒「社会科展」

市内小中学生による、夏休みの自由研究の作品を展示します。各校から選ばれた約80作品です。

会期／9月26日(土)～10月4日(日)

会場／特別展示室

### ●さつまいも掘り

とき／10月18日(日)午前10時～、午前11時～

(小雨決行。悪天候の場合翌週に延期)

定員／各9組(申込み順)集合場所／旧金子家住宅前

参加費／1組1,000円

申込み／10月2日(金) 午前9時から電話で

主催／難波田城公園活用推進協議会

### ◆開園・開館20周年記念イベント◆

#### ①秋季企画展「開館20周年記念作品展」

難波田城公園・資料館で活動をしている諸団体の活動とその作品を紹介します。

会期／前期：10月10日(土)～11月15日(日)

後期：11月21日(土)～1月11日(祝)

紹介団体／

前期：資料館友の会(拓本部会、木綿部会、竹かご部会、ふるさと探訪部会)

後期：美楽の会、古文書の会、難波田城いきものがかり、扇だこ保存会、ほうき作り伝承会

会場／特別展示室

#### ②ふるさと探訪 秋の難波田城周辺を訪ねる

とき／10月11日(日) 午前9時～正午(小雨決行)

集合／中央図書館時計塔前

主な見学地／金蔵院→水越樋管→興禅寺→南畑八幡神社→たそがれ地蔵→難波田城跡

定員／15人(申込み順)

参加費／500円(保険料等、当日集金)

申込み／10月1日(木)～10月8日(木)に電話で

主催／資料館友の会ふるさと探訪部会・難波田城資料館

#### ③拓本体験

とき／10月18日(日) 午後1時～、1時30分～

2時～、2時30分～

場所／講座室 定員／12組(各回3組・先着順)

協力／資料館友の会拓本部会

#### ④古民家コンサート・古民家寄席

とき／10月25日(日) 場所／旧大澤家住宅

主催／難波田城公園活用推進協議会

参加費／無料 定員／各30名(申込順)

申込み／10月3日(土)午前9時から電話で

コンサート 午前11時～11時30分

二胡と篠笛：落合桂美

寄席 午後1時30分～2時30分

落語：桂南なん 太神楽：丸一小助・小時

#### ⑤糸つむぎ(糸車)・わたくり実演

とき／11月3日(祝) 午後1時～3時

場所／講座室 実演／資料館友の会木綿部会

#### ⑥よろいの着用実演と展示

とき／11月14日(土)午前11時～正午

午後2時～3時

場所／旧大澤家住宅 定員／24人(各回先着順)

※展示は旧金子家住宅 午前10時～午後3時

協力・実演／川越藩火縄銃鉄砲隊保存会

#### ⑦竹かご作り実演

とき／11月15日(日)午後1時30分～3時

場所／講座室 定員／15人(当日先着順)

実演／資料館友の会竹かご部会

#### ⑧ほうき作り実演

とき／11月28日(土)午前10～正午 午後1時～3時

場所／講座室 定員／15人(各回先着順)

実演／ほうき作り伝承会

#### ⑨はじめて読む古文書

とき／11月29日(日)午前10時～10時45分

11時～11時45分

場所／講座室 定員／各回10人(中学生以上・申込順)

協力／古文書の会

申込み／11月1日(日) 午前9時から電話で

#### ●ちよつ蔵市(難波田城公園活用推進協議会主催)

9月27日(日)おはぎ

午前11時より販売。売り切れ次第終了

10月・11月はお休み

田舎まんじゅう販売  
(第1,3日曜日)午前10:30～

※他にも様々なイベントがあります。各イベントの詳細は、広報ふじみやポスター、チラシ、公式サイトなどでお確かめください。



富士見市立難波田城資料館

TEL. 049-253-4664 Fax. 049-253-4665

〒354-0004 埼玉県富士見市下南畑 568-1

[https://www.city.fujimi.saitama.jp/madoguchi\\_shisetsu/02shisetsu/shiryokan/nanbatajo/index.html](https://www.city.fujimi.saitama.jp/madoguchi_shisetsu/02shisetsu/shiryokan/nanbatajo/index.html)

◆休館日／月曜日(祝日を除く)、祝日の翌日(土・日・祝日を除く)、年末年始 開館時間／午前9時～午後5時

◇公園休園日／なし 開園時間／午前9時～午後6時(4月～9月) 午前9時～午後5時(10月～3月)



資料館公式サイト